

2019年5月30日

各 位

株式会社北洋銀行

2019年度「ほっく一基金自然環境フォーラム」を開催します

北洋銀行は、CSR活動の取り組みのひとつとして「ほっく一基金自然環境フォーラム」を開催いたします。

当行は、道内の希少種保護や生息環境整備等に取り組む人々や団体を、「ほっく一基金北海道生物多様性保全助成制度」を通じて支援しており、2019年度は24団体に対し、総額700万円の活動資金を助成いたします*。

本フォーラムでは、2019年度助成先24団体のうち「ほっく一コース」採択先である8団体への助成金贈呈式、ならびに札幌市円山動物園の加藤修園長による特別講演を実施いたします。北海道の自然の素晴らしさ、生物多様性保全の大切さを実感していただけるフォーラムとなりますので、ぜひご来場ください。

当行は、持続可能な社会に貢献すべく、今後も環境に配慮した商品や金融サービスの提供、並びに環境保全に取り組むお客さまを支援すると共に、国際連合が提唱するSDGsの達成に貢献してまいります。

※当制度は、助成金額上限100万円の「ほっく一コース」と助成金額固定10万円の「トムコース」の2コースを設定しています。2019年度は「ほっく一コース」助成先8団体へ計540万円、「トムコース」助成先16団体へ計160万円助成いたします。

記

- 開催日時 2019年6月21日(金) 15:00~16:10(受付14:30~)
- 場 所 北洋大通センター4階 セミナーホール
- 定 員 先着100名さま(入場無料・自由席)
※定員となり次第、申込受付は終了とさせていただきます。ご了承ください。
- 内 容

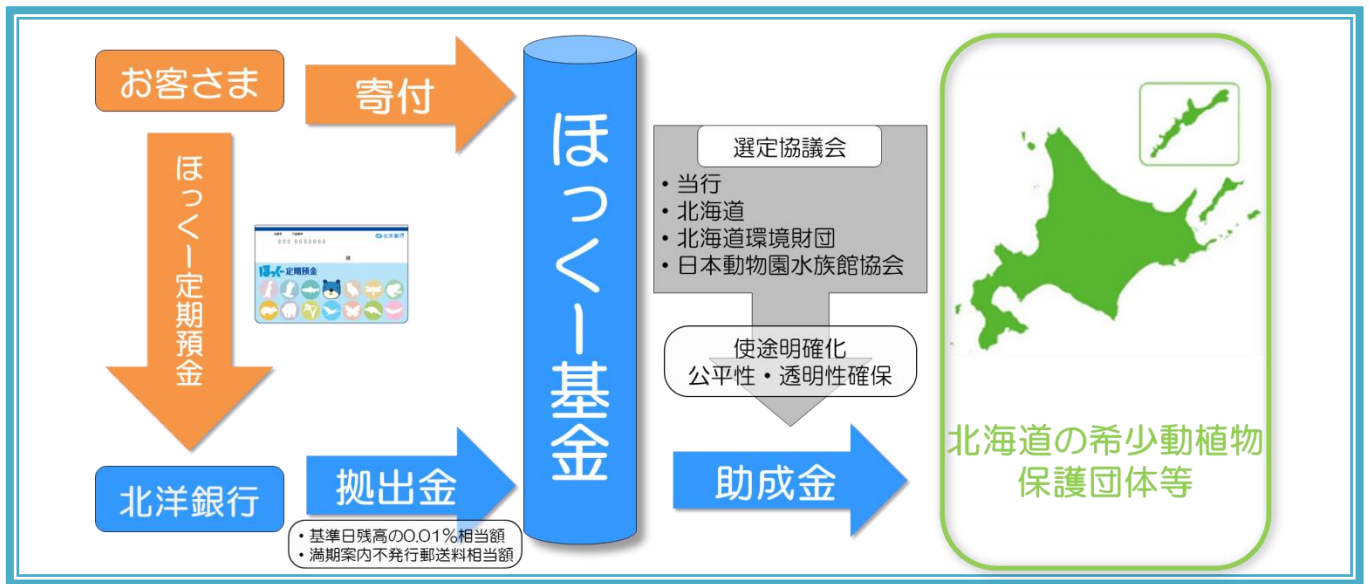
<第1部>ほっく一基金助成金贈呈式 【15:00~15:20】	<第2部>特別講演 【15:30~16:10】
【贈呈先】 ・石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク ・一般社団法人エゾシカ協会 ・釧路自然保護協会 ・黒松内ブナ林再生プロジェクト ・CISEネットワーク ・NPO法人西興部村猟区管理協会 ・ヒグマの会 ・深川ひきがえるバスターズ	【演題】 円山動物園100周年に向けて ～アジアゾウとともに2050年へ～ 【講師】 加藤 修 園長(札幌市円山動物園)

- お申込み方法 北洋銀行経営企画部 CSR 推進室
FAX : 011-232-5735
E-Mail : h-csr@hokuyobank.co.jp
※会社・団体名、氏名を記載の上、FAXまたはE-Mailにてお申込みください。
FAXでお申込みの場合は別紙の参加申込書をご利用ください。

以 上

1. 制度の概要

■「ほっくー基金北海道生物多样性保全助成制度」のしくみ図



■ほっくー定期預金

「ほっくー基金」の主な原資として、「ほっくー定期預金」を全店でお取り扱いしています。

お客さまからお預け入れていただいた「ほっくー定期預金」の、当行が別途定める基準日の残高の 0.01%相当額と、満期案内不発行による郵送料相当額を、当行は「ほっくー基金」に拠出いたします。これにより、お客さまは金銭負担なく、間接的に「ほっくー基金」へ参加し、北海道の生物多样性保全に貢献いただくことができます。

2. 「ほっくーコース」助成先のご紹介

(50音順)

団体名	団体所在地	主な活動内容	助成金による活動	助成金額
石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク	札幌市	石狩川流域の湿地保全を目的に、湿地調査会や探索会の開催、啓蒙啓発用の映像製作等を実施	湿地をもっと身近に！ 「しめっち」プロジェクト	100万円
一般社団法人エゾシカ協会	札幌市	シカ肉の解体処理場の製品の認証制度等を創設しているほか、シカの適正な捕獲・管理を担う人材育成を実施	エゾシカ問題への認知度を向上させるための体験型イベント	70万円
釧路自然保護協会	釧路市	釧路湿原や生息する動植物の保全活動のほか、釧路川水系のイトウ保護のための生息態調査、手作り魚道の設置等を実施	手作り魚道による釧路湿原のイトウ個体群の復元	100万円
黒松内ブナ林再生プロジェクト	黒松内町	ブナ北限域におけるブナ林再生活動を行うほか、ブナ林再生作業とブナ林散策を組合せたブナ林再生ツアー等を実施	北限域のブナ林再生活動	40万円
CISEネットワーク	札幌市	北海道の自然や生物多様性の体験ができる教材の開発、自然史博物館・環境関連施設の人材や資料を活用した事業を実施	北海道の生物多様性がわかる 「どこでも自然史博物館」プロジェクト	50万円
特定非営利活動法人 西興部村猟区管理協会	西興部村	森林・野生動物・人間の共生を目指して、地域の科学的狩猟管理、自然体験プログラム、エゾシカ有効活用等を実施	H31年度 西おこっぺ村ワイルドライフ教室	40万円
ヒグマの会	江別市	ヒグマと人間が共生できる社会作りを目指し、ヒグマの調査研究、生息地保全、ヒグマ対策や対応策の教育活動等を実施	ヒグマの会40周年記念事業 「北海道のシンボル、ヒグマ ～共存への道のり～」	100万円
深川ひきがえるマスターズ	深川市	国内外来種アズマヒキガエルの駆除技術を組み立てると共に、駆除効果の把握や外来種に関する普及啓発活動を実施	アズマヒキガエル・アライグマ駆除等 外来動物対策事業	40万円

ほくく基金

自然環境フォーラム

北洋銀行は、2010年に設立した「ほくく基金」を通じて、北海道の豊かな自然を次世代につないでいくための活動を応援しています。北海道の自然の素晴らしさ、生物多様性保全の大切さを実感していただけるフォーラムとして、2019年度助成先団体への助成金贈呈式と札幌市円山動物園の加藤修園長による特別講演を実施します。



2019

6/21(金)

15:00~16:10
(受付開始 14:30)

北洋大通センター4階
セミナーホール

札幌市中央区大通西3丁目7番地

プログラム

第1部 15:00~15:20 ほくく基金 2019年度助成金贈呈式

第2部 15:30~16:10 札幌市円山動物園 加藤園長 特別講演

演題

「円山動物園 100周年に向けて
～アジアゾウとともに 2050年へ～」

お問合せ

北洋銀行経営企画部 CSR推進室
TEL **011-261-1151** (平日9:00~17:00)

入場無料

定員 **100** 名さま

お申込み方法は
裏面ご参照

特別
講演

加藤園長に聞く!

円山動物園
100周年に向けて
～アジアゾウとともに
2050年へ～

講師ご紹介



加藤 修 園長
(札幌市円山動物園)

1966年8月生まれ。
1989年4月より札幌市役所に奉職し、2016年4月より現職。生物多様性を守るための地球温暖化対策の必要性を伝えるとともに、ホッキョクグマのさらなる繁殖を目指して、世界的な基準を満たしたホッキョクグマ館を2018年3月にオープンしたほか、森林保全の大切さを伝えるために、ミャンマーから4頭のアジアゾウを導入し、2019年3月に12年ぶりにゾウの展示を再開するなど、動物園の強みを生かした生物多様性保全事業や環境教育などを推進している。

プログラム



第1部 ほくくー基金 2019 年度助成金贈呈式

2019 年度「ほくくーコース」助成先団体への贈呈式を実施します。

贈呈先団体

石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク C I S E ネットワーク
一般社団法人エゾシカ協会 NPO 法人西興部村猟区管理協会
釧路自然保護協会 ヒグマの会
黒松内ブナ林再生プロジェクト 深川ひきがえるバスターズ



第2部 特別講演

演題

「円山動物園 100 周年に向けて
～アジアゾウとともに 2050 年へ～」

講師

加藤 修 園長
(札幌市円山動物園)



お申込み方法

FAX または Eメールにてお申込みください。

FAX でのお申込み 下記申込書を記入のうえお申込みください。

ほくくー基金自然環境フォーラム 参加申込書 (FAX)
FAX 番号 011-232-5735 北洋銀行経営企画部 CSR 推進室 宛

参加希望者		参加希望者	
会社名 団体名		会社名 団体名	
氏名		氏名	

Eメールでのお申込み 参加希望者の会社・団体名、氏名を記載のうえ、お申込みください。

E-mail h-csr@hokuyobank.co.jp

【個人情報の取扱いについて】 ご提供いただいたお客さまの個人情報は、本フォーラム開催のためのみに使用いたします。

会場案内

会場
北洋大通センター

井門札幌ビル

道新ホール

札幌大通西4ビル

大通り西4

大通り西3

北洋大通センター内案内図

